vinetur

Cruzcampo、英国でスペインビールブランド販売首位に立ったと発表

ハイネケン傘下のラガービール、英国全土の18,500軒を超えるパブやバーで提供

2026年11月10日（火）



Cruzcampoは英国で販売量が最も多いスペインビールブランドとなり、同国の18,500軒を超えるパブやバーで提供されている。火曜日に公表された同社資料によると、これは2026年9月のNielsenIQデータに基づく。

ハイネケン傘下で、1904年にセビリアで誕生した同ブランドは、販売量と販売額の両方で英国市場のスペインビールブランド首位に立ったと発表した。また、英国で販売される樽生ビールブランド全体でも、国内外の競合を含め、販売額で3位になったとしている。

この数字は、醸造各社の競争においてパブやバーでの販売が今なお重要な役割を果たす英国の外食産業で、スペイン発の同ブランドが強い地位を築いていることを示している。Cruzcampoによると、英国でスペインブランドとして販売されるビールの3本に1本以上が同社製品だという。市場全体での販売量は、1日当たり約90万パイントに相当するとしている。

同社は売上高、市場全体に占める正確なシェア、NielsenIQのランキングに用いた統計期間を明らかにしていない。発表では元となる調査手法も公表されておらず、比較の詳細な根拠を独自に検証することはできなかった。同ランキングは、2026年9月時点の英国樽生ビール市場における販売額を基準としたものとして示された。

こうした制約はあるものの、データからは、Cruzcampoがニッチな輸入ブランドの枠を超え、欧州でも競争の激しいビール市場の一つで幅広い流通網を確立したことがうかがえる。同社によると、現在、英国全土の18,500軒を超えるパブやバーで同ブランドのビールが提供されている。英国のパブは約71,000軒と推計されており、これは全体のおよそ4軒に1軒に当たるという。

Cruzcampoが英国市場に参入したのは2023年4月。同社によると、英国人観光客がスペイン南部への旅行中に同ブランドのビールを飲み、帰国後に自国でも探すようになったことが、参入のきっかけの一つだった。以来、ハイネケンは業務用と小売の両チャネルで流通を拡大してきた。

同社によると、Cruzcampoは英国参入から1年以内にすでに約10,000軒のバーで取り扱われ、スーパーマーケットの68％に進出していた。その後もロンドン、マンチェスター、バーミンガム、リーズなどの都市で成長を続けているという。

ハイネケンは英国でのマーケティング投資を通じて、ブランドの拡大を後押ししてきた。Cruzcampoによると、2026年には「Choose to Cruz」と題したキャンペーンをテレビ、動画配信プラットフォーム、ソーシャルメディア、屋外広告で展開し、ロンドンのウォータールー駅やピカデリーサーカスにも広告を出した。同社はこのプロモーションとブランドの急成長を関連付けているが、伸びのうち広告、価格設定、流通拡大、カテゴリー全体の動向がそれぞれどの程度寄与したかを示す内訳は公表していない。

同社はスーパーマーケットでの成長にも言及し、Cruzcampoはビールカテゴリー全体で最も成長の速いブランドで、市場全体の4倍を超えるペースで伸びているとした。ただし、この比較についても根拠となるデータは公表されていない。

小売分野での取り組みの一環として、英国市場でフレーバービールのCruzcampo Sevilla Orangeを発売した。同社によると、この商品は社内予想を上回り、英国のフレーバービール商品の中で最も高い市場浸透率を達成している。また、購入者の12％はビール・サイダーカテゴリーの新規顧客だったとし、他ブランドから需要を奪っただけでなく、新たな消費者をカテゴリーに呼び込んでいる証拠だと説明した。

成熟したビール市場でプレミアムブランドや国際性を打ち出すブランドの強化を目指すハイネケンにとって、英国でのCruzcampoの躍進は重要な意味を持つ。ホップ・醸造業界団体BarthHaasによると、ハイネケンは2025年、2億3,565万ヘクトリットルを生産し、世界第2位のビールメーカーだった。スペイン発祥で地域色を明確に打ち出すCruzcampoは、輸入ラガーや地中海スタイルのビールが長く英国の飲み手を引きつけてきた市場で、オランダの同社が競争するためのブランドとなる。

英国での実績により、Cruzcampoは、アンダルシア地方をはじめスペイン国内で長年主要ブランドとして販売されてきた地盤を超え、国際市場での足場も築いている。英国市場向けのビールはセビリアで醸造されていると同社は述べた。

今回の数字からは、前年からランキングで何位上昇したのかは分からない。発表に際し、比較可能

な前年のランキングが公表されなかったためだ。また、企業の所有関係、生産、商業流通は採用する指標によって異なる形で計上されるため、ブランドの英国での販売すべてが、貿易統計上スペインから輸出されたビールを意味するわけではない。

それでも、同社が示した地位は、英国のバー市場でスペイン発祥のブランドが存在感を高めたことを示す注目すべき動きだ。英国の定番ビールや世界的に展開する大衆向けラガーが主流だった市場で、少なくとも同社による2026年9月のNielsenIQデータの解釈では、Cruzcampoが樽生ビールの販売額ランキング上位に食い込んだ。